

《学校教育目標》社会とつながり、主体的に学び続け、未来を作る力を育みます。

令和4年11月30日



# SAKAIJI JHS

## 境木中学校学校だより 2022th



横浜市立境木中学校  
校長 阿部直美

〒244-0802 横浜市戸塚区平戸 3-48-2 TEL 045-822-8626 Fax 045-826-3826

## 経験すること、体験することの大切さ

校長 阿部 直美



校庭のレモンも色づきました

師走の声を聞くと、何かとあわただしく気が急いで参りまね。あっという間にもう年の瀬かと思うと、月日の経つのが本当に速く感じられます。

10月後半から始まった後期ですが、早くも11月15日から3日間、中間テストを実施しました。3年生にとっては進路に関わる重要なテストということで、かなり重圧があったのではないかと思います。3年生は今、進路選択という壁に立ち向かっています。年を重ねた私たち大人は、「人生に大きな岐路はつきものであり、成功体験も挫折体験も自分を育ててくれた。」とか「いずれは何とかなるものだ。」などと悟っていますが、渦中にいる生徒たちにとっては初めての経験であり、入試を前に追い詰められた気持ちになるのも、無理ないのかもしれませんが。そういう意味でも、人生の様々な経験は生きる上で貴重な財産ですね。だからこそ教職員は、自分の経験から、入試結果が人生の全てを決めるわけではないことを伝え、自分自身の失敗談や挫折体験などを語ることで、生徒たちが心に余裕を持てるよう、考える幅を広げられるように仕向けていくことが大切ではないかと思っています。

テストに前後して、生徒会による“届けよう、服の力”プロジェクトが進められました。これは、ユニクロが UNHCR（国連高等弁務官事務所）と共に進める、生徒参加型の難民支援の学習です。本校では SDGs について意識を高めるため、この活動に協力しようと学習を進めてきました。6月には1年生が、難民の方々にとって服がいかに大切かということユニクロの方から教えていただき、それが生徒会活動に結び付いたのです。生徒会役員は、子供服提供を呼びかけるチラシやポスターを作り、自治会にお願いに伺いました。図書委員会では難民について調べて壁新聞を作り、全校放送で難民にちなんだ絵本を朗読しました。紛争や迫害によって故郷を追われた難民は、1億人を超えています。こんなに多くの人々が家を追われ、劣悪な環境で苦しみながら暮らしています。これまで難民問題に知識がなかった生徒達も、この学習を通して難民の問題に関心を持ち、解決するためにどうしたらいいか、考えを巡らせたことと思います。こうした経験が、未来の社会を創る力につながっていきます。地域のみならず、保護者のみなさまにもたくさんの子供服を学校に届けていただき、ありがとうございました。

先週は、環境美化委員会が花壇にパンジー、ビオラ、スノーホワイト、ミニシクラメン等のきれいな花を植えました。NPO 法人元気な地域人の会様から「花いっぱい活動」の寄付金をいただき、地域学校協働活動本部の呼びかけで地域・保護者のみなさまも手伝っていただきました。小春日和の中、大人と子どもと一緒に楽しく活動し、土に触れる貴重な体験となりました。

また、来年度に向けて、授業見学や部活動体験、個別支援級の小中交流会など、小学生が来校する機会もありました。中学生にとっては、6年生に技術を教えたり、中学校生活のことを伝えたりするよい体験になりました。小学生にとっても、百聞は一見に如かず。今回、見たり体験したりすることで、未知の中学校生活への理解が深まったのではないのでしょうか。

コロナ下で停滞していた、大切な「体験」が、少しずつ元に戻り始めています。





# 自分づくり教育(キャリア教育) 各学年の取組

境木中学校では、「自分づくり」に関する資質・能力を育成することに力を入れています。特に総合的な学習の時間等を活用した3年間を見通したキャリア教育\*を通し、未来の自分をイメージして、挑戦する力を育みたいと考えて取り組んでいます。

\*一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す教育。

《学校教育目標》主体的に学び、社会とつながり、未来を創る力を育みます。

## 次ページの記事

## 1年生

7月にユニクロの出前授業で、会社が行う社会貢献について知り、今の自分のできることを考えました。  
12月・冬休みには、自分のあこがれている人やその人の職業について調べてまとめていきます。



1年生 自分の興味・関心がある職業を見付ける

**じぶんの主張**：学年のテーマに沿って自分の考えを探索的・協働的にまとめます。

## 3年生

自分の未来の職業にふさわしい進路を見付けて挑戦する



## 3年生

「自分の進路は自分の意志で決定する」ことに向けて6つのステップを進めています。

- ① 将来の職業希望
- ② 進路を決める目的
- ③ 自分の適性
- ④ 進路先の状況
- ⑤ 進路計画
- ⑥ 進路相談

ひとつずつをクリアすることで、主体的な進路が実現します。



11月、3年道徳「働くことってどんなこと」では、将来仕事を選ぶときに優先することを7つから考え、グループで話し合い、共有して、考えを深めました。

## 2年生

10月の「職業講話」を通して、働くことへの考えを深めました。  
12月は「職業インタビュー」で境木商店街を始め、地域に出かけたり、地域の方に来校いただいたりして、直接対話して、働くことについて自分なりの考えをまとめていきます。



2年生 働いている方と直接、交流して、働くことへの考えを深める

## 6組

10月に講師を招いて「仕事体験」に取り組みました。社会的なルールやマナーを学び、1月はそれを生かして、ズーラシアで「職業体験」を行います。



## 「自分づくり(キャリア)パスポート」

各学年、定期的に自分自身の学校生活を振り返り、自分の考えを深め、自分の適性や活動を記録しています。学びのプロセスを記述できるポートフォリオです。

## 職業インタビュー先

### ◆来校者の職業◆

自動車ディーラー  
パイロット  
働き方改革  
コンサルタント  
鍼灸あん摩マッサージ  
指圧師  
グラフィック  
デザイナー  
モデル  
栄養士  
建築士  
保育士  
教育  
・職員室アシスタント  
・事務職  
・技能吏員  
資源循環局(ゴミ収集)  
音楽家  
介護士  
管理栄養士  
テレビプロデューサー  
接客・販売  
看護師  
ライフプランナー  
(訪問先は来月号紹介)

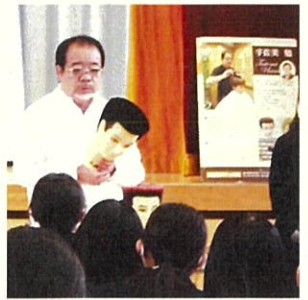


2年生

横浜マイスターを招いて「職業講話」 10/28

10月28日(金)、横浜マイスター\*の宇佐美 勉 様(理容師)を講師に、お招きして、2年生を対象とした職業講話を行いました。

横浜だけでなく日本や世界で活躍し、後進育成される宇佐美様は、カット練習用のマネキンや、貴重な理容バサミなどの実物を提示しながら、理容師の仕事から見える働くことへの醍醐味を生徒に伝えてくださいました。



\*横浜市では、市民の生活・文化に寄与する優れた技能職者を「横浜マイスター」に選定しています。「横浜マイスター」は、横浜市の技能職者の代表として、技能職の後進育成及び貴重な技能の継承を行っています。(横浜市 Web サイトより)

『職業講話をうけて』

2年3組 川村 彩絢 さん

10月27日に理容師の宇佐美勉先生が来てくださり、職業講話を行いました。

宇佐美先生は、理容師として、仕事のやりがいやデザインの重要性、理容師と美容師の違いなどを教えてくださいました。その中でも、休日に7,000円もかけて、髪を切る練習をするという話が一番心に残りました。だから、プロは左右同じように髪を切れる、次に来ても同じように切れるなど、上手な人は、かげで努力しているのだなと強く実感しました。

今まで、あまり自分の将来について考えたことはなかったので、職業について考えるととても良い機会になりました。他にも、「今日、やれることは今日やれ。明日に残すな。」など、心に響く話もたくさんしていただいたので、これからの学校生活や職業インタビュー、将来に生かしていきたいと思いました。

生徒会

子ども服回収! 「服のチカラ」プロジェクト



難民に服を届ける活動を境木中学区で!

- ◆回収期間 11月7日(月)~11日(金)
- ◆地域の皆様 職員玄関前回収BOX
- ◆生徒の皆さん 校内の回収BOX
- ◆赤ちゃんから160センチまでの子ども服

ご協力ありがとうございました! おかげ様で段ボール15箱、約600枚の服を回収しました!



▲「難民からのSOS」  
壁新聞で情報を発信



▲『せんそうがやってきた日』  
図書委員が昼の放送で朗読

生徒会長 3年3組 桐村 恵菜さん

服回収へのご協力ありがとうございました。境中初の試みで不安もありましたが、委員会の生徒や地域の方の協力のおかげで多方面から宣伝することができました。今回の活動が、今後皆さんにとってプラスになれば嬉しいです。

副会長 3年1組 浅沼 雄飛さん

皆さんの協力の元、多くの服が届けられました。一人一人の行動が多くの難民の方々の支えとなることを、境木地区に限らず、国を越え、世界中に広まることを願っています。

副会長 3年5組 田中 落子さん

最初は服が集まるのか不安でしたが、皆様のご協力により、なんと段ボール約15箱分も集まりました!!ありがとうございます。さらに服をたたむのも上手になれました。

書記 3年2組 平松 璃咲さん

さまざまな委員会のご協力のおかげで、みんなに難民について知ってもらい、たくさんの洋服を集めることができました。少しでも多くの子供たちのために活動できてよかったです。



# 地域学校協働本部

## 地域・保護者の方と生徒が「花植え活動」 11/26



▲地域・保護者の方の紹介 ▲地域の方による花苗準備 ▲花屋さんによるレクチャー ▲花壇にパンジー苗植え

# 職員研修

## ICT 及び SDG s の校内研修



ICT と SDG s に関する講師を招き、教職員研修を行いました。授業で ICT 等も活用しながら、生徒が主体的、協働的に学ぶための示唆を得ました。

## 区教科研究授業会(道徳)



11/24、保土ヶ谷区中学校研究会において、本校では3年1組の道徳「働くことってどんなこと」を公開し、区内教職員で研究協議しました。

# PTA バレー

## 教職員交流会

11月9日の夜、PTA バレーの皆さんと教職員で3年ぶりに交流試合を行いました。スポーツの秋、バレーボールを通して、楽しい時間を過ごせました。



声をかけ合い、ボールがつながり、心もつながる行事でした

## 校長先生が11月に読んだ図書館の本



◎秋の夜長に黙々と本を読んでいます。読むのが2度目の本もありました。お勧めされて読んだ本も面白く、熱中しました。タイトルと装丁に惹かれて手に取った本が、期待以上で、大満足です。

- ★♡ 「セカイを科学せよ！」 作：安田 夏菜 講談社
- ★ 「親の期待に答えなくていい」 著：鴻上 尚史 小学館 Youth Books
- ★★ 「激走！日本アルプス大縦断」 著：NHK スペシャル取材班 集英社文庫
- ★ 「透き通った風が吹いて」 作：あさの あつこ 文芸春秋
- ★★♡ 「ポタニカ」 作：朝井 まかて 祥伝社

難易度など ★★読み応えあり ★読み易い文章 ♡阿部好み

## 12月の主な予定

◎卒業式は、3月8日

- 11/30・12/1 市立高等特支学校入学選抜日
- 1日(木) 県立養護学校本校・分教室入学選抜日  
学校保健委員会
- 2日(金) 各種委員会・委員長会
- 5日(月) 朝会、人権講演会
- 6~9・12日 3年：三者面談①~⑤
- 8日(木) 県立養護学校合格通知発送日
- 12日~16日 1・2年：三者面談①~⑤
- 13日(火) 市立高等特支学校合格発表

## 人権講演会

◆12月5日(月) 13:15~14:00  
 ◆講師：吉井 奈々様  
 一般社団法人 JCMA 代表理事  
 コミュニケーション講師  
 心理セラピスト

- 21日(水) 大掃除
- 23日(金) 学年集会  
冬休み前 放送集会
- ★12月26日~1月6日 冬季休業